

茨城県農産物販売推進東京本部情報

令和元年(2019年)6月

1 東京都中央卸売市場(2019年1-5月)の青果物取扱高について

- ① 全体の入荷量は約77万tで、前年比1%増、金額は約2,157億円で前年比8%減となった。
- ② 茨城県産の入荷量は約9.7万tで、前年並、金額は約213億円で前年比15%減となった。
 (金額の内訳は、野菜約172億円、果実約40億円。前年同期比で野菜18%減、果実1%減、平年同期比で野菜14%減、果実4%増)
 金額が【増加】した品目(前年対比)：レタス類(109%)、ピーマン(103%)
 金額が【減少】した品目(前年対比)：はくさい(44%)、みず菜(71%)、こまつな(73%)、メロン類(87%)
- ③ 茨城県の青果物入荷量は平年比1%増(シェア12.6%)、取扱金額は同11%減(シェア9.9%)となった。

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(1-5月計)			
	1-5月計	年間計	年間比	1-5月計	年間計	年間比	千葉	北海道	栃木	
数量	H31(2019)	769,296		96,831	←シェア(12.6%)		13.1%	6.0%	3.8%	
	H30	759,928	1,907,279	39.8	96,440	225,946	42.7	13.2%	7.4%	3.9%
	(前年比)	101		100	シェア(12.7%)					
	平年値※1	790,788	1,978,757	40.0	95,649	228,350	41.9			
	(平年比)	97		101	シェア(12.1%)					
金額	H31(2019)	215,670		21,259	←シェア(9.9%)		8.2%	2.9%	8.5%	
	H30	234,238	568,808	41.2	25,037	56,745	44.1	9.2%	2.8%	7.7%
	(前年比)	92		85	シェア(10.7%)					
	平年値※1	230,698	563,980	40.9	23,869	57,101	41.8			
	(平年比)	93		89	シェア(10.3%)					

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は平成26～30年の5年平均。
 ※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》
 平成30年実績
 (1～12月計)

茨城県：金額シェア(10.0%)、数量シェア(11.8%)
 千葉県：金額シェア(7.8%)、数量シェア(11.0%)
 北海道：金額シェア(6.1%)、数量シェア(10.7%)
 栃木県：金額シェア(5.8%)、数量シェア(3.4%)

2 東京都中央卸売市場(令和元年5月単月)の茨城県産青果物主要品目の取扱高

()内は前年対比

野菜類の入荷量は約22千トン(96%)、単価は194円(97%)、金額は約42億円(94%)

果実類の入荷量は約3千トン(86%)、単価は482円(105%)、金額は約14億円(91%)

※平年比(全国比)は、市場全体の数量、単価と、市場全体の平成26～30年同月の5年平均値との比率

	品目	数量(t)			単価(円/kg)				金額(千円)			
		前年比	平年比	平年比(全国比)	前年比	平年比	平年比(全国比)	前年比%	平年比			
野菜	ねぎ	1,733	106%	116%	102%	417	87%	87%	89%	721,991	92%	101%
	ピーマン	1,894	100%	97%	103%	343	98%	95%	91%	650,110	98%	92%
	レタス類	2,322	142%	96%	95%	151	110%	95%	99%	350,437	156%	91%
	はくさい	6,407	100%	112%	107%	47	94%	69%	68%	303,851	95%	77%
	野菜総計	21,848	96%	99%	99%	194	97%	89%	90%	4,244,057	94%	88%
果実	メロン類	1,833	81%	89%	91%	480	104%	100%	97%	879,248	84%	89%
	果実総計	2,907	86%	93%	95%	482	106%	103%	102%	1,401,313	91%	97%

(野菜)

低温や高温、雨不足の影響でやや生育が乱れたところもあった。昨年はレタス類は前進出荷で切り上がりがかつたため、前年比142%となっているが平年に比べるとやや少ない状況であった。相場安の傾向が続いていること、10連休や気温の変動で消費が鈍ったことなどもあり、野菜総計で数量は平年並ながら単価は90%となった。

(果実)

メロン類では4月の低温の影響で肥大が鈍り、やや小玉傾向で推移したため、前進出荷の前年に比べ減少しただけでなく平年比でも減となった。果実全体では、おうとうやもも、晩かん類など数量減の品目が多く、単価は前年・平年を上回った。

※各数値は、東京都中央卸売市場実績を基に算出